

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	観光振興課	職	課長	氏名	良澤 和俊
評価者	組織	観光振興課	職	次長兼課長	氏名	良澤 和俊

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	観光入り込み客数	千人	25,000 (H27)	21,632 (H25)	21,611 (H26)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価							
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性						
				(年度)	(年度)	(年度)												
施策1	課題1	新ほっと石川観光プランの推進 (3大都市圏誘客1000万人構想の推進)	3大都市圏からの入り込み客数	千人	10,000 (H27)	7,017 (H25)	6,903 (H26)	1 石川県観光創造会議開催費	観光客全般	1,000	1,000	B	継続					
								2 国内誘客戦略強化費	観光客全般	1,600	1,600	B	継続					
								3 石川香川観光パートナーシップ協定推進事業費	観光客全般	2,400	2,400	B	継続					
								隣県からの入り込み客数	千人	3,150 (H27)	2,808 (H25)	2,869 (H26)	1 いしかわ観光応援団活動推進事業費	観光客全般	9,100	9,100	B	継続
													2 ふれあいと体験の旅事業費	観光客全般	4,005	3,590	B	継続
施策1	課題1	体験交流観光の推進	グリーン・ツーリズム参加者	千人	3,150 (H27)	2,808 (H25)	2,869 (H26)	再掲	ふれあいと体験の旅事業費	観光客全般	4,005	3,590	B	継続				
	課題2	観光地や温泉地の魅力アップと活性化	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,564 (H25)	41,043 (H26)	1 観光地活性化推進事業費	市町等	24,320	24,320	B	継続					
								2 いしかわナイトツアー開発支援事業費	観光客全般	2,220	2,220	B	休止・廃止					
								3 いしかわスイーツ博開催事業費	観光客全般	15,000	15,000	B	継続					
								4 温泉地魅力アップ推進事業費	市町等	138,380	113,320	B	休止・廃止					
								5 観光案内サイン整備事業費	観光客全般	10,000	9,381	B	休止・廃止					
								6 金沢城・兼六園四季物語開催事業	観光客全般	12,763	12,763	A	継続					
	課題3	イベント、コンベンションの振興	コンベンション開催・参加者数	件・人	400・96,800 (H27)	401・88834 (H25)	326・62900 (H26)	戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	コンベンション主催者	5,000	5,000	C	継続					
	課題4	おもてなしの充実	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,564 (H25)	41,043 (H26)	再掲	観光地活性化推進事業費	市町等	24,320	24,320	B	継続				
	課題5	人材の育成	ボランティアガイド団体・参加者数	団体・人	30・800 (H27)	23・991 (H25)	24・1015 (H26)	ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	5,500	5,500	B	継続					
	課題6	効果的な情報発信	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,564 (H25)	41,043 (H26)	1 ほっと石川観光キャンペーン事業費	3大都市圏等観光客、旅行業	53,050	53,050	B	継続					
								2 旬のいしかわネット配信事業費	観光客全般	6,000	6,000	A	継続					
								3 関西・中京圏誘客促進事業	観光客全般	3,000	3,000	B	拡大					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	石川県観光創造会議開催費	事業開始年度	H17	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作成者	組織	観光振興課			
	職・氏名	専門員 田中 華依子			
	電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3919			

事業の背景・目的

観光施策の指針となる「新ほっと石川観光プラン」の推進にあたって、高い識見をお持ちの各界各層の方々から新しい時代の観光振興政策に対する大所高所からのご提案をいただく「石川県観光創造会議」を開催し、その提案を活かした新しい時代にふさわしい観光振興策を展開する。

事業の概要

I 石川県観光創造会議

1. 会議の構成

- (1) 委員数 20人
- (2) 構成 各分野の第一人者（交通、国際、観光、芸術・文化、食、海外誘客など）
- (3) その他 委員のほか、特別顧問（石川県観光大使）として、仲代達矢氏など14名が就任

2. 役割

- (1) 北陸新幹線開通を見据えて、新しい観光のあり方等への提案
 - ・国内外からの入り込み客数の目標達成に向けた誘客方策
 - ・石川の魅力、個性、印象など観光石川のブランド創出に向けた方策
- (2) 本県の観光応援団としてのPR的機能を発揮

II 観光総合プロデューサーの設置

- 1. 目的 観光プランを総合的に推進するため、全体にわたって企画等の指導、助言をするプロデューサーを配置し、プラン推進の原動力の役割を担うこととする。
- 2. 観光総合プロデューサー 早川 和良氏（CMプロデューサー）

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	10,000	7,268	6,969	6,832	7,017	6,903	
指標	隣県からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	3,150	2,605	2,607	2,576	2,808	2,869	

事業費

(単位: 千円)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	1,750	1,500	1,500	1,500	1,000
	決算	1,750	1,500	1,500	1,500	1,000
一般	予算	1,750	1,500	1,500	1,500	1,000
財源	決算	1,750	1,500	1,500	1,500	1,000
事業費累計		10,845	12,345	13,845	15,345	16,345

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	これまでの会議における意見提出をもとに、スイーツを活かした観光誘客事業やおもてなしの推進をはじめとした受入環境整備などについて事業化が図られている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	今後とも観光施策の指針となる「新ほっと石川観光プラン」を実効性のあるものとするため、高い見識を持つ各界各層の方々から常に新しい時代の観光振興策に対する提案を頂き、それを活かした観光振興策を展開していく必要がある。なお、委員との個別ヒアリングを実施するなど、より効果的な実施方法について探っていきたい。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	国内誘客戦略強化費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度		
		根拠法令	新ほっと石川観光プラン			
		・計画等				

作	組	織	観光振興課		
成	職	氏名	主事 藤原 慈		
者	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3921			

1 目 的
 新ほっと石川観光プランに掲げる、「首都圏誘客500万人構想」、「三大都市圏1000万人構想」の実現を図るため、旅行商品造成や、MICEや修学旅行の誘致など、それぞれの分野により戦略的な事業展開を強化していく必要がある。このため、それぞれの分野において人脈や経験が豊富で情報に精通している方をアドバイザーに委嘱し、具体的な助言をいただきながら戦略的な国内誘客を展開していく。

2 事業内容
 国内誘客について、それぞれの分野に精通した方々を「国内誘客戦略アドバイザー」として委嘱

(1)委嘱数 8名程度
 (2)分 野 ①誘客戦略(旅行商品づくり)
 アドバイザー例:交通事業者関係者
 旅行会社関係者 など
 活 用 例:顧客ニーズの聞き取り
 →ニーズに対応した旅行素材に磨き上げ、旅行会社に売り込み

②MICE・修学旅行の誘致
 <MICE>
 アドバイザー例:国際会議の専門業者 など
 活 用 例:MICE主催者が求める要望を聞き取り
 →具体的な企画提案に反映
 <修学旅行>
 アドバイザー例:修学旅行の業界団体 など
 活 用 例:学校誘致に効果的な情報を聞き取り
 →具体的な企画提案に反映
 学校長を対象とした修学旅行の研究集会の情報
 →研究集会に参加しPR

3 県負担金
 1,600千円

施策・課題の状況							
施策	三大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
	指標	三大都市圏からの入り込み客数			単位	千人	
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	10,000	7,268	6,969	6,832	7,017	6,903	
事業費							
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算				2,000	1,600	
	決算				2,000	1,600	
一般財源	予算				2,000	1,600	
	決算				2,000	1,600	
事業費累計		0	0	0	2,000	3,600	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性	B	MICEや教育旅行の誘致に精通しているアドバイザーの助言により、効果的な情報収集が可能となったことで、戦略的なセールス活動が実施でき、平成27年度の北陸新幹線金沢開業に向けてMICEや修学旅行誘致に貢献した。 平成26年度実績 コンベンション開催件数 326件 教育旅行誘致校数 18件					
今後の方向性	継続	北陸新幹線の金沢開業後の継続的な誘客に向け、引き続きアドバイザーからの助言を活かしながらMICEや修学旅行の誘致活動を展開していく。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	石川香川観光パートナーシップ協定推進事業費	事業開始年度	H24	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	STEP21		

作	組	織	観光振興課		
成	職・氏名	主事 中嶋 高大			
者	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3921			

<事業の背景・目的>
 全国では初めてとなる香川県との観光パートナーシップ協定に基づき、平成24年度は関西圏、平成25年度は首都圏で合同観光PRイベントを実施し、三大都市圏誘客1,000万人構想の実現を図っているところである。
 今年度末の北陸新幹線金沢開業を迎えるにあたっては、開業直前時期には首都圏からの旅行控えが予測されていることを踏まえ、H26は本県及び香川県ともに誘客のターゲットエリアである中京圏での合同PRイベントにおいて、互いに共通する観光資源を対比させたPR等を実施することで、本県の観光資源の魅力を最大限に引き出した観光PRを展開する。

<事業の概要>
 ○中京圏での合同観光キャンペーン(10月11日～13日)
 イオンなど大型商業施設を活用した観光PRを実施するとともに、県産食材を使った食の販売や物産品の展示・販売等を行う。

(1)観光PR
 ○特設ステージ
 金沢芸妓の舞、ミス加賀友禅、金沢百万石武将隊、ひゃくまんさん 等
 ○ブース・展示
 石川・香川合同ブース、金沢・高松合同ブース、伝統的工芸品の展示

(2)県産品PR・販売
 農林水産物・特産品の販売、近江町市場カニ汁、揚げ浜むすび、呈茶コーナー

<県負担金>
 2,400千円

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	三大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進					
	指標	三大都市圏からの入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	10,000		6,969	6,832	7,017	6,903
事業費						
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算			4,800	3,000	2,400
	決算			4,800	3,000	2,400
一般	予算			4,800	3,000	2,400
	決算			4,800	3,000	2,400
財源	事業費累計			4,800	7,800	10,200
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性	B	平成26年度は、石川香川合同観光PRを中京圏で実施し、平成24年度の関西圏、平成25年度の首都圏と合わせて、三大都市圏すべてで香川県との合同PRを実施した。浜田香川県知事と中西石川県副知事によるトップセールスも実施し、想定どおり多くの方に訪問していただいた。				
今後の方向性	継続	三大都市圏すべてで香川県との合同PRを実施したことで、今後も北陸新幹線金沢開業効果を持続させるため、三大都市圏で引き続き合同PRを実施していく予定。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ観光応援団活動推進事業費	事業開始年度: H19	事業終了予定年度:	作 組 織: 観光振興課 成 職・氏名: 主事 出村 正樹 者 電話番号: 076 - 225 - 1127 内線 3919
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン	

◎事業の背景・目的
 北陸新幹線の金沢開業を見据え、首都圏をはじめ全国に向け石川の魅力や観光情報を発信するため、口コミによりPRいただける方を、「いしかわ観光特使」として委嘱しているところであるが、加えて、首都圏に向けた開業PRを一層推進していくため、石川県人会をはじめとする本県ゆかりの首都圏在住者と協働して取り組むことが大変重要である。本事業では、特使の情報発信や誘客活動をサポートするとともに、特使や県人会をはじめとする県ゆかりの首都圏在住者の方々と一体となって、気運を盛り上げ、情報発信の強化を図る。

◎事業の概要

- 1 県人会等協働PR推進事業
 いしかわ百万石の集いの充実・強化を図り、首都圏在住の方々の気運を盛り上げることで、情報発信力を強化。
 - (1) いしかわ百万石の集いの開催
 首都圏の県人会等と協力し、家族、知人も参加できるオープンな交流イベントを開催
 - ・イベント構成: 第1部 県政報告、第2部 交流イベント
 - ・イベント内容: 拡 県人会等と協力した飲食・物販・PRブース出展、ステージイベント 他
 - (2) その他
 - ・日本橋・京橋祭りへの参加(ファンド事業)
- 2 いしかわ観光特使ネットワーク推進事業
 特使の資質を維持向上するため、特使の活動サポートを継続する。
 - (1) 交流会・出前講座の開催
 - ・交流・情報交換の場を提供し特使活動の活性化を促すとともに、旬の観光情報の講座を開催
 - ・開催場所: 交流会・出前講座3地区(関西、中京、県内)
 - (2) 研修旅行の実施
 実際に訪れて体験したことなどをPRに活用するため、県内施設やスポット等の見学ツアーを実施
 - ・テーマ別研修、県外からの参加者に配慮した1泊2日ツアーの開催(定員40人程度)
 - (3) 活動サポートグッズの作成
 - ・新特使名刺 …… 全員に配布(200枚/人)
 - ・観光PRグッズ …… 情報発信のツールとして活用していただくためのグッズを作成・配布
 - (4) 観光情報の提供
 - ・「いしかわ観光特使事務局通信」のメール配信 …… 定期的送付(月2回程度)
 - ・パンフレット送付 …… 定期的送付(年4回)
 - ・ホームページ …… 特使の活動報告、協力施設のイベント情報など特使のための情報発信

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
10,000	7,268	6,969	6,832	7,017	6,903		
指標	隣県からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
3,150	2,605	2,607	2,576	2,808	2,869		
事業費							
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
事業費 予算	7,000	5,500	5,500	9,100	9,100		
事業費 決算	7,000	5,500	5,500	9,100	9,100		
一般 予算	7,000	5,500	5,500	9,100	9,100		
財源 決算	7,000	5,500	5,500	9,100	9,100		
事業費累計	13,000	18,500	24,000	33,100	42,200		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	観光特使には、それぞれの生活やお仕事など日常の活動の場で、本県の観光についてのPR活動を行って頂いており、H22～H26年度で約18,900名の誘客につながるなど、着実に成果が上がっている。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	観光特使の意欲と知識の向上のため、観光情報を定期的に提供するなど、観光特使の活動をサポートするほか、県人会等ともさらに連携した「いしかわ百万石の集い」の開催や、特使への新たなPRツールの配布を行うなど(ひやくまんさんを使ったオリジナル一筆箋)、誘客への情報発信を推進する。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ふれあいと体験の旅事業費	事業開始年度	H19	事業終了予定年度		作 組 織	観光振興課
	根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成 職・氏名	専門員 村濱 美千代
					者 電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3918

1 目的

旅行の魅力のひとつである「人とのふれあい」に焦点をあてたプログラムの充実や情報発信等を行い、本県への旅行意欲を喚起するとともに、実際に体験プログラムを通じてガイドや地元の人とのつながりを深めてもらうことで、旅行後の継続的な交流の促進を図る。

2 事業内容

(1) 利用者の拡大に向けた戦略的な情報発信の継続

- <課題> 全ての観光旅行において、継続した戦略的な情報発信が必要。
 → 大手旅行予約サイトでの情報発信
 ・大都市圏在住の本県ゆかりの人、及びその家族、友人などに継続的なアプローチ

(2) 体験プログラムの更なる掘り起しと磨き上げ

- <課題> 教育旅行をはじめとしてグリーン・ツーリズムの需要が高まっていることから、受け入れ態勢のさらなる拡充と情報発信が必要
 → 農家民宿体験講座の開催、グリーン・ツーリズム研究会との連携によるプログラムのブラッシュアップ など
 ・イベントガイドやマップによるグリーン・ツーリズム体験に関する情報発信

(3) 産業観光の一層の推進

- <課題> 全国産業観光フォーラムinこまつ」の開催を一過性に終わらせることなく一層の推進が必要
 → 産業観光に関する研修会の開催
 ・ウェブやガイドブックでの受入施設に関する情報発信

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進		
指標	3大都市圏からの入り込み客数	単位	千人
目標値	現状値		
	平成26年度	平成22年度	平成23年度
	10,000	7,268	6,969
			平成24年度
			6,832
			平成25年度
			7,017
			平成26年度
			6,903
指標	隣県からの入り込み客数	単位	千人
目標値	現状値		
	平成26年度	平成22年度	平成23年度
	3,150	2,605	2,607
			平成24年度
			2,576
			平成25年度
			2,808
			平成26年度
			2,869

事業費

	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	4,960	5,500	6,000	8,000	4,005
	決算	3,763	4,633	5,252	7,284	3,590
一般	予算	1,900	2,900	3,400	5,400	2,050
	決算	1,900	2,900	3,400	5,400	2,050
事業費累計		4,960	9,593	14,845	22,129	25,719

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	各種の情報発信により、観光入り込み客数について、前年度並みの水準を維持するなど、一定の成果があったと考えている。 県内体験交流施設の利用者数の推移 ※観光振興課調べ H25年度 2,474千人 H26年度 2,464千人
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	今後も引き続き、利用者の拡大に向けた各種情報発信および体験プログラムや受入態勢を向上させるための講座・研修会を開催し、ニューツーリズムの推進を図る。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	観光地活性化推進事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作組	織	観光振興課							
成職	氏名	専門員 定司 太一							
者電	話番	号	076	-	225	-	1538	内線	3928

(事業の背景・目的)
温泉地に代表される主要観光地等の活性化を図るため、県の「新ほっと石川観光プラン」を踏まえ、各観光協会、広域観光協会等が実施するハード・ソフト事業に対し、支援を行う。

(事業の概要)
観光地ブランド化推進支援事業 県負担金 24,320千円

- 1 観光地ブランド化推進事業(ソフト事業)
 - (1) 対象事業
 - 観光地の活性化を図るため、市町が策定した観光振興計画に基づき新たな観光資源の掘り起こしや地域の個性を活かした観光地づくりなどのブランド化を図るソフト事業に対する支援
事業例：観光資源のブランド化、個性あるイベントの実施など
 - 外国人観光客の受入整備に係るソフト事業に対する支援
事業例：外国人観光客に対応したパンフレットの作成、総合案内サインの整備、人材育成など
 - (2) 交付先：市町
 - (3) 経費負担：県1/3(上限4,000千円/温泉地等)、市町1/3、実施主体(観光協会等)1/3
- 2 観光地広域連携推進事業
 - (1) 対象事業
 - 広域的に観光地の魅力を高めるための受入整備や集客力・利便性の向上を図るソフト事業に対する支援
 - (2) 交付先：広域観光協会
 - (3) 経費負担：県 1/3(上限5,000千円/協会)、実施主体(広域観光協会) 2/3
- 3 観光地活性化整備事業 (ハード事業) 平成26年度は要求なし
 - (1) 対象事業
 - 各市町が策定した計画に基づき、観光客の利便性向上や観光地の魅力をアップするためのハード事業に対する支援
事業例：案内看板の整備、駐車場の整備など
 - (2) 交付先：各市町 (総湯等温泉施設の事業主体が総湯管理団体の場合は、総湯管理団体)
 - (3) 補助率、補助限度額
 - ①補助率：事業費×(1-地元負担1/10)×1/4以内
 - ②補助限度額：10,000千円(事業費10,000千円以下の事業は、補助対象外とする。)

(これまでの見直し状況)
H17：「個性豊かな温泉地まちづくり推進事業費補助金」、「温泉地街並み等修景整備促進事業費補助金」、「快適観光空間整備促進事業費補助金」を廃止。「観光地等再生計画策定支援事業費補助金」を統合
「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」創設
H19：「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」廃止
H24：事務費削減1,800千円

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B	
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化						
	指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564	41,043	

事業費						
(単位:千円)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	26,120	26,120	24,320	24,320	24,320
	決算	26,120	26,120	24,320	24,320	24,320
一般財源	予算	26,120	26,120	24,320	24,320	24,320
	決算	26,120	26,120	24,320	24,320	24,320
事業費累計		77,170	103,290	127,610	151,930	176,250

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	B	温泉地の新たな魅力付けに寄与したほか、地元でも関連イベントが開催されるなど、本事業を通じて魅力的で個性ある観光地の形成に向けた取り組みが進められたことにより観光地への入り込みが維持されるなど一定の効果が得られた。
今後の方向性	継続	北陸新幹線の金沢開業効果を活かし、継続的に発展させていくためには、観光地や温泉地へのリピーター客の定着が重要であることから、観光地を常日頃から磨き上げていくことはもとより、新たな魅力の創出を図り、何度訪れても飽きない新鮮な観光地を形成していくことが重要である。 このため、地域の特性を活かした魅力ある観光地となるため、地元自治体、観光関係団体、地域、観光業界などが引き続き一体となり、取り組んでいく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわナイトツアー首都圏誘客事業費	事業開始年度	H22	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新はつと石川観光プラン		
		作 組 織	観光振興課		
		成 員 氏 名	専門員 村濱 美千代		
		者 電 話 番 号	076 - 225 - 1542 内線 3925		

1 目 的
 北陸新幹線金沢開業により、本県と首都圏が2時間半で結ばれることは誘客拡大のチャンスである一方、日帰り客の増加が懸念されることから、宿泊しなければ体験できない夜の観光資源の掘り起こしを行うとともに、これまでに掘り起こし、まとめた観光素材を首都圏等に情報発信を行い誘客の拡大を図る。

2 事業内容
 情報発信の強化による、観光資源の定着・誘客
 (1) 旅行会社向け： H25年度に作成した素材集を中心に情報発信
 ・各種旅行商談会、東京事務所等を通じて情報を発信
 (2) 個人向け：自ら旅行先を決める個人向けに季節・地域ごとに分類し発信
 ・ホームページやスマートフォンを通じて旅行素材を発信
 ・観光情報センターでの情報提供 など
 (3) 受入体制の整備
 夜の観光素材について地元ホテル、旅館、観光情報センター、交通事業者等との情報共有や旅行商品のパンフレットを配置することにより、観光客のニーズに答えられよう受入体制の整備を図る。

3 県負担額 2,220千円

4 交付先 公益社団法人 石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化						
	指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564	41,043	
事業費							
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算	2,000	1,500	4,000	4,000	2,220	
	決算	2,000	1,500	4,000	4,000	2,220	
一般	予算	2,000	1,500	4,000	4,000	2,220	
財源	決算	2,000	1,500	4,000	4,000	2,220	
事業費累計		2,000	3,500	7,500	11,500	13,720	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性	B	夜の観光資源を組み込んだ旅行会社向け観光素材集や、個人向け夜の観光素材情報をホームページやスマートフォン対応サイトで情報発信することにより、観光入り込み客数及び宿泊客数について、前年度並みの水準を維持するなど、一定の成果があったと考えている。 延べ宿泊者数(石川県) ※統計から見た石川県の観光(宿泊者数)より H24年 6,852千人 H25年 7,393千人					
今後の方向性	休止 ・ 廃止	これまでに、宿泊を伴う夜の観光資源の掘り起こし、観光素材集の作成、情報発信のためのサイトの構築等を行い、誘客拡大のための仕組みができ、本事業の目標は達成したと考えるため。 なお、構築したスマートフォン対応サイトの情報の更新は随時行い、今後も継続して情報を提供する予定。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	温泉地魅力アップ推進事業費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作	組	織	観光振興課		
成	職	氏名	主事 松下 翔丸		
者	電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3929			

1 事業の目的
北陸新幹線金沢開業を見据え、開業効果を金沢のみならず、加賀、能登全域に波及させ、さらには、観光客にご満足いただくことでリピーター化を促すため、温泉地の魅力向上につながる温泉旅館の施設整備を促進する。

2 内 容
市町と温泉地とが一体となって取り組む、街並み景観に調和した外観整備、伝統工芸を活用した施設改修、ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備といった温泉旅館の前向きで付加価値が向上する積極的な施設整備に対して支援を行う。

○補助対象事業例
(1)＜まちづくり＞
温泉地の街並み景観に調和した建物外観整備(周辺の温泉風情に調和した外壁整備等)

(2)＜地域振興＞
石川の文化の活用(伝統工芸や伝統文化を紹介するギャラリー設置等)

(3)＜ユニバーサルデザイン＞
すべての人が利用しやすい宿泊施設内改修(ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備)

○補助対象者 石川県観光連盟加盟の温泉観光協会等に所属する県内の温泉旅館

○補助対象経費 15,000千円以内
(県1/3、市町1/3、温泉旅館(実施主体)1/3)

○補助金額
1件あたり 5,000千円以内

○事業実施期間 H25、H26年度

3 県負担金 H25: 40,523千円
H26: 113,320千円
合計: 153,843千円(全額観光連盟基金を取り崩して実施)

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化						
	指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564	41,043	
事業費							
	(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	予算			50,000	138,380		
	決算			40,523	113,320		
一般財源	予算			0	0		
	決算			0	0		
事業費累計				40,523	153,843		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性	B	北陸新幹線金沢開業の前に改修が完了し、受入体制の充実を図ることができた。					
今後の方向性	休止・廃止	事業開始時からH25、H26の2カ年限りとしており、目的を達成できたためH26年度をもって終了とする。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光案内サイン整備事業費	事業開始年度 H25	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン

作	組	織	観光振興課
成	職・氏名	専門員 定司 太一	
者	電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3928	

1 背景
 本県の観光案内サインは平成6年から平成16年に整備され、現在351箇所となっているが北陸新幹線金沢開業を控え、本県では道路整備が進んでいるほか、能登有料道路無料化など観光を取り巻く環境の大きな変化により県内外からの観光客の増加が見込まれる。
 <主な要因>
 ・北陸新幹線金沢開業
 ・能越自動車道七尾氷見道路全線開通(平成26年度中)
 ・能登有料道路の無料化
 ・南加賀道路や白山ICの開通などの道路整備

2 対応
 北陸新幹線金沢開業を見据え、新たな道路整備への対応、無料化される県内有料道路沿線観光地への拡充、県内重要伝統的建造物群保存地区等の表示など、県内観光資源への一体的かつ連続的なサインを平成26年度末までに整備する。

3 事業内容
 ○平成25年度 のと里山海道で道路標識に加えて観光案内サインを整備
 新たな道路の開通による不足分の整備
 重要伝統的建造物群保存地区の新規整備

 ○平成26年度 国土交通省の標識令改正による英語標識の修正
 白山スーパー林道の名称変更による表示の修正

4 県負担金

	平成25年	91,500千円	N=31箇所
	平成26年	9,381千円	N=30箇所程度(標記修正等)

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564	41,043
事業費						
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算				100,000	10,000
	決算				91,500	9,381
一般財源	予算				25,000	10,000
	決算				22,000	9,381
事業費累計					91,500	100,881
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性	B	北陸新幹線金沢開業前に、観光案内サインの適正化を図ることができた。				
今後の方向性	休止・廃止	緊急に修正が必要なものについては完了したことから、一旦休止とする。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作組	織	観光振興課			
成職	氏名	主事 高 慎太郎			
者	電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3930			

【事業の背景・目的】

石川らしい観光地づくりを目指し、観光資源の多様な活用により、観光地の活性化を図るため、金沢城公園や兼六園などを舞台に新しい観光の魅力を演出するイベント等を四季を通じて開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、本県のイメージアップと観光誘客の促進を図る。

【事業の概要】

1. 金沢城・兼六園ライトアップ……雰囲気の異なる金沢城・兼六園の特徴を活かしたライトアップイベント

タイトル	開催日時	来場者数
初夏の段	平成26年6月7日(土)～8日(日) 19:00～21:00	7,704人※1
秋の段Ⅰ	平成26年10月11日(土)～12日(日) 18:30～21:00	70,925人※2
秋の段Ⅱ	平成26年11月21日(金)～30日(日) 17:30～21:00	55,753人
冬の段	平成27年2月7日(土)～8日(日),14日(土)～22日(日) 17:30～21:00	32,090人
春の特別開催	平成27年3月14日(土)～22日(日) 18:30～21:00	35,329人
計 5回開催(述べ34日間)		201,801人

※1 百万石まつり入場祝祭などの入場者数も含まれるため金沢城公園入場者数はカウントしない。

※2 金沢城プロジェクションマッピングの入場者数も含まれる

2. 金沢城公園内でのイベント……四季折々の金沢城の魅力を、音と光で演出するイベント

○ 金沢城プロジェクションマッピング 平成26年10月11日(土)～12日(日) 18:30～21:00

【負担金交付先・事業規模】

- ・交付先: 石川の四季観光キャンペーン実行委員会(会長: 石川県観光戦略推進部長)
- ・事業規模: 20,211千円 (県負担 12,763千円, 金沢市負担 6,882千円, 繰越金566千円)

【これまでの見直し状況】

平成11年度に、それぞれの事業毎に実行委員会を組織していたものを一本化し、「石川の四季観光キャンペーン実行委員会」として、年間を通じて事業を実施している。

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	A
課題	イベント、コンベンションの振興					
指標	観光地の入り込み客数			単位	千人	
目標値	現状値					
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
54,886	41,033	40,003	39,415	39,564	41,043	

事業費						
(単位: 千円)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	10,240	10,427	9,082	8,729	12,763
	決算	10,240	10,427	9,082	10,662	12,763
一般	予算	10,240	10,427	9,082	8,729	12,763
	決算	10,240	10,427	9,082	10,662	12,763
財源	事業費累計	73,280	83,707	92,789	101,518	114,281

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	A	<p>H26年度については、10月に金沢城公園においてプロジェクションマッピングが開催されたこと、さらに北陸新幹線金沢開業に伴う特別開催等もあり、H25年度から開催日数及び来場者数が大幅に伸び、本事業の目的である観光石川の魅力を県内外にアピールし、イメージアップと観光誘客に大きな効果があった</p> <p>(H25 20日間→H26 34日間, H25 93,760人→H26 201,801人)</p>
今後の方向性	継続	<p>北陸新幹線の金沢開業により日帰り客の増加が見込まれる中、金沢城公園・兼六園において四季を通じたライトアップイベントを開催することにより、夜の観光資源として宿泊客の増加に寄与する。</p>

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	事業開始年度	S63	事業終了予定年度	
		根拠法令			
		・計画等			新ほっと石川観光プラン

作成者	組 織	観光振興課			
	職・氏名	主事 藤原 慈			
	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3921			

事業の背景・目的
 学会等の誘致を促進するために、(公財)金沢コンベンションビューローが実施する各種PR活動を支援し、地域経済の活性化を図る。

- 事業の概要**
- 1 コンベンション都市推進事業
 - ・国際コンベンションの情報収集、キーパーソン招聘など、日本政府観光局マーケティング事業を活用
 - 2 コンベンション都市広報事業費
 - ・東京で開催される国際ミーティング・エキスポに参加するほか、より多くの開催決定者との商談を行う
 - 3 コンベンション活性化推進事業
 - (1) 着地型情報提供事業
 - ・コンベンション参加者にとって利便性が高く、持ち運びやすいサイズのガイド冊子として「コンベンションナビ2014」を作成し、街中の回遊性向上や消費拡大につながる着地情報として配布・提供する。
 - (2) インターネット等情報端末発信事業
 - ・コンベンション主催者及び参加者に対し、注目度を高めるホームページを展開するほか、スマートフォンなど携帯端末からの情報収集を可能にする。
 - (3) 接遇スキルアップセミナー開催事業
 - ・当地でのコンベンション開催時に顧客満足をこれまで以上に高めるため、サプライヤーである賛助会員向けに多種多様な要望におもてなしの心で即応出来る人材を育成するセミナーを開催する。
 - (4) 加賀・能登ランチ活性化事業
 - ・加賀及び能登に各ランチを設置し、県下全域にコンベンション事業を浸透、普及させ、速やかに誘致・支援・受入を図るための活動をする。
 - 4 MICE推進事業
 - MICE誘致・展開事業
 - ・国際学会等の誘致を積極的に進めるため、韓国及び東南アジアをターゲットに商談会や展示会等の参加、ファムトリップ・インセンティブ招請受入事業を実施し、石川・金沢の魅力積極的にアピールしていく。

これまでの見直し状況
 平成12年に加賀・能登ランチを小松・七尾商工会議所内に開設し、コンベンションの県下全域対応ができるよう、組織強化を図った。

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B	
課題	イベント、コンベンションの振興						
	指標	コンベンション開催・参加者数				単位	件・人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	400	353	362	393	401	326	
	96,800	75,575	73,999	93,112	88,834	62,900	

事業費					
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 予算	4,952	4,952	5,000	5,000	5,000
事業費 決算	4,952	4,952	5,000	5,000	5,000
一般 予算	4,952	4,952	5,000	5,000	5,000
財源 決算	4,952	4,952	5,000	5,000	5,000
事業費累計	105,914	110,866	115,866	120,866	125,866

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	C	北陸新幹線金沢開業後の平成27年度に石川県でのコンベンション開催を予定している団体が多く、平成26年度は本県での開催を控える傾向にあったが、海外及び国内の商談会への参加・情報提供や国際会議等のキーパーソンへの招聘等積極的な誘致活動を展開した。
今後の方向性	継続	北陸新幹線金沢開業によるアクセスの向上や魅力あふれる観光資源を活用したアフターコンベンション等、コンベンション開催地としての魅力を学会や会議等のキーパーソン、企業に対してPRし、年度間及び季節毎にバランスのとれたコンベンション誘致活動に引き続き取り組んでいく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ウェルカムいしかわ推進事業費	事業開始年度	H22	事業終了予定年度		作 組 織	観光振興課
		根拠法令 ・計画等	STEP21	成 職・氏名	主事 松下 翔丸	者 電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3929

1 目 的

北陸新幹線金沢開業を見据え、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを推進するため、裾野の拡大を図るとともに、最後の総仕上げとして「おもてなし」の実践を後押しする。

2 事業内容

(1)「ほっと石川おもてなし推進協議会」の開催 (300千円)
各業界での課題や取組状況などの意見交換、全県的なおもてなし向上に向けた取組の推進等

(2)「おもてなし宣言いしかわ大会」の開催 (2,800千円)
これまでの県内各地域・各団体の活動内容の発表や今後の活動の決意表明として「おもてなし宣言」を行う。

(3)「おもてなし宣言集」の作成 (500千円)
各地域・各団体が行った宣言を旅ねっとで公開し、取組の輪を広げる。

(4)「観光おもてなし塾」の開催 (1,300千円)
観光関係団体の人材育成担当者のスキルアップを図る研修会を実施

(5)「おもてなし講座」の開催 (600千円)
県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとして、企業や地域の集会などに無料で講師を派遣し、講座を実施

3 県負担金

5,500千円

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	人材の育成					
指標	ボランティアガイド団体・参加者数				単位	団体・人
目標値	現状値					
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	30団体:800人	25団体:836人	25団体:836人	27団体:882人	23団体:991人	24団体:1,015人
事業費						
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	4,100	8,300	6,300	5,500	5,500
	決算	4,100	8,300	4,300	5,500	5,500
一般	予算	4,100	8,300	6,300	5,500	5,500
財源	決算	4,100	8,300	4,300	5,500	5,500
	事業費累計	4,100	12,400	18,700	24,200	29,700
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性	B	北陸新幹線金沢開業に向けた県民のおもてなし意識の向上を目的として、観光事業者の底上げ、スキルアップのための「観光おもてなし塾」、県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとする「おもてなし講座」を平成22年度から実施するとともに、県民の意識統一のため、県内各地で「おもてなし推進大会」を開催。「観光おもてなし塾」は延べ116人が受講、「おもてなし講座」は延べ8,167人が受講し、おもてなし意識の向上を図ることができた。				
今後の方向性	縮小	新幹線が開業したことから、今後は「観光おもてなし塾」と「おもてなし講座」のみの開催とし、県民のおもてなし向上に取り組んでいく。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ほっと石川観光キャンペーン事業費	事業開始年度	H6	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作	組	織	観光振興課		
成	職	氏名	主事 中嶋 高大		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1539 内線 3921

事業の背景・目的
北陸新幹線金沢開業を見据え、アクションプラン「STEP21」の重点プロジェクトや交通インフラの積極的活用、温泉旅館等の活性化支援を推進するとともに、多様化する旅行者のニーズに対応した情報発信や、テーマを絞った情報発信、特定機関を対象とした誘客促進などを行うことにより、「新ほっと石川観光プラン」に掲げた3大都市圏誘客1,000万人構想の実現を目指す。

事業の概要

1. 情報発信事業

1-1 認知度の向上

(1) マスメディアを活用した情報発信
雑誌、新聞等各種メディアとタイアップした事業を実施

(2) 地域を限定しない効果的な情報発信
オーケストラアンサンブル金沢情報発信、など

2. 受地取組事業

観光地の魅力創出

(1) JRタイアップキャンペーンによる期間限定イベントの実施

(2) 着地型旅行の推進
百万石風情の旅

交付先: 公益社団法人石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	効果的な情報発信					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564	41,043

事業費						
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算	55,850	47,980	53,390	53,050	53,050
	決算	55,850	47,980	53,390	53,050	53,050
一般	予算	55,850	47,980	53,390	53,050	53,050
	決算	55,850	47,980	53,390	53,050	53,050
財源	決算	55,850	47,980	53,390	53,050	53,050
事業費累計		416,175	464,155	517,545	570,595	623,645

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	B	情報発信を中心とした様々な観光キャンペーンを実施することで、出雲大社や伊勢神宮の遷宮等により関西・中国方面への観光が増加する中、本県観光地への入込客数を増加させることができた。
今後の方向性	継続	新ほっと石川観光プランに掲げる「3大都市圏誘客1,000万人構想」達成のため、引き続き三大都市圏からの誘客促進に取り組んでいく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 旬のいしかわネット配信事業	事業開始年度 H24	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	

作	組	織	観光振興課			
成	職	氏名	主事 釣谷 俊介			
者	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3921				

1事業目的
 インターネットを活用した宿泊予約が増加している状況(2012年:43.3%)を踏まえ、引き続き、個人客をターゲットとした効果的な発信により、誘客促進を図るとともに今年度末の北陸新幹線金沢開業を迎えるにあたり、特に開業直前時期の首都圏からの旅行控えが予測されていることから、首都圏に対する取り組みに加え、特に関西・中京圏からの旅行需要の一層の喚起を図ることが重要。

2事業内容
 (1) 大手旅行予約サイトを活用した効果的な情報発信
 各季節に合ったテーマ(温泉、食、景観等)を設定した情報発信により、効果的な誘客促進に努めた。
 夏:家族旅行(4週間)、秋:加賀温泉郷(4週間)、冬:能登の食(8週間)

(2) 大手福利厚生代行会社とタイアップした、会員へのダイレクトな情報発信
 →送客効果の高い1社において期間を延長したプロモーションを実施するとともに、新たに駆け込み旅行需要期を狙ったプロモーションを展開し、宿泊予約の増加を図った。
 ①会員専用HPやメールマガジン、会報誌(8月号・12月号)を活用した情報発信
 ②駆け込み旅行需要期におけるチラシの配布(1~2月)

※福利厚生代行会社・・・宿泊・レジャー等の余暇支援サービスなどを、民間企業や官公庁一括契約(代行)し、契約企業の社員に割安な会員価格で提供する企業

3 泉負担金
 6,000千円
 交付先 : (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	効果的な情報発信					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564	41,043
事業費						
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算			6,000	6,000	6,000
	決算			6,000	6,000	6,000
一般	予算			6,000	6,000	6,000
	決算			6,000	6,000	6,000
事業費累計				6,000	12,000	18,000
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性	B	(1) 大手旅行予約サイトを活用した情報発信 プロモーション期間中は、それぞれ、前年同期比で(夏)+6,870人泊、(秋)+9,416人泊、(冬)+27,852人泊となっており、想定した効果が得られている。 (2) 大手福利厚生代行会社を活用した情報発信 11,517人泊(事業開始前のH23年同期比で+5,285人泊)となっており、想定した効果が得られている。				
今後の方向性	継続	両事業においてターゲットを明確にし、各季節に合った情報発信を行ったことで宿泊客の増に繋がっていることから、				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 関西・中京圏誘客促進事業	事業開始年度	H26	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作組	織	観光振興課
成職	氏名	主事 釣谷 俊介
者電	話番	076 - 225 - 1539 内線 3921

1 目的
 新幹線開業年に達成を目標としている「3大都市圏誘客1,000万人構想」の実現には、新幹線開業に伴う首都圏からの誘客倍増に加え、これまでに大きな割合を占めている関西・中京圏からの誘客の確保及び底上げが必要不可欠である。特に平成26年度には首都圏からの開業前の出控えが予想されることから、関西・中京圏向けの観光PRを実施した。

- 2 事業内容**
- (1) 大手百貨店会報誌を活用した情報発信
 関西・中京圏を中心に展開する老舗大手百貨店「大丸」「松坂屋」のカード会員に対し、会報誌を用い、ダイレクトな情報発信を行った。
 【時期】平成26年11月号(10月25日発行号)
 【内容】・本県の観光情報の掲載
- (2) 大手百貨店における観光PRイベントの実施
 大阪の新名所「あべのハルカス」内にある大手百貨店「近鉄百貨店あべのハルカス本店」のイベントスペースにて観光PRイベントを実施した。
 【時期】平成27年1月24日(土)・25日(日)
 【内容】・観光PRブースの設置
 ・ひやくまんさんステージの実施

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	評価	B			
課題	効果的な情報発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
10,000	7,268	6,969	6,832	7,017	6,903	

事業費					
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算				3,000
	決算				3,000
一般	予算				3,000
財源	決算				3,000
事業費累計					3,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	B	(1) 大手百貨店会報誌を活用した情報発信 期間中の宿泊利用実績: 1,026名となり、想定より宿泊予約の増加には結びつかなかった。 (2) 大手百貨店における観光PRイベントの実施 新オープン話題の新名所であること、関西では露出が少ないひやくまんさんが出演したことなどから、人通りが非常に多く、1,200枚用意したアンケート用紙がイベント開始後早い段階でなくなるなど、強い関心を示す人が多く、効果的なPRとなった。
今後の方向性	拡大	平成26年度に実施し、効果が高くなかった大手百貨店会報誌を活用した情報発信を取りやめるとともに、関西・中京圏からの送客を確保するため、新幹線開業効果が一段落する秋期に、北陸ディスティネーションキャンペーンと連動した関西・中京圏における現地プロモーションを強化する。